

町税の減税対策 基金繰入金の減額 を盛り込んだ 3億104万円

9月補正予算(一般会計)の概要

9月定例議会で一般会計の補正予算が成立しました。補正予算額は、3億104万円で、これにより一般会計の予算総額は56億6104万円となりました。はじめに今回の補正予算の特徴を述べ、次にどのような事業が計上されているか担当課ごとに説明します。

徴収 基金繰入の減額 個人町民税の減税に対応

町の一番大きな歳入である地方交付税の大半を占める普通交付税が決定したことや、また、5年度からの繰越金が確定したために、今年度の歳入・歳出の見通しがおおよそ立ちました。そこで、6億円余りを当初予算で計上していた基金繰入金を1億円減額します。

また、図書館の完成などにより、将来いろいろな施設の維持管理に要する費用の増加に対応するため、光町公共施設維持管理基金に5,000万円を積立てます。これが今回の補正予算の特徴の一つです。

もう一つの特徴は、今年度行われた個人町民税の減税についての対応です。

年度7、500万円余り税収が減ることになります。そのため、税収が減る分について減税補てん債という町債(町の長期的な借入金)を発行し、減税分を補うことにしました。

ちなみに、今年度発行する減税補てん債は、来年度から10年間で元金と利子を返済しますが、その75%は国が負担することになっています。

総務課

消防組合野栄町 分遣所の改修

八日市場市、野栄町、光町で構成している消防組合では、現在野栄町分遣所の改修工事を行っています。その改修に要する経費の負担金を増額しました(105万円)。

企画 財政課

海老川開発の 基本計画策定経費

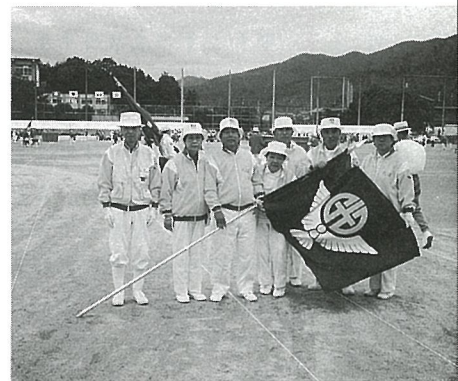
地元の連帯意識の高揚を図るため、原方地区のおおよし用具の購入に助成します(60万円)。

町では海老川沼の周辺開発を県の事業として行っていただけよう県に要望しています。そのためには、海老川沼開発の基本計画を県に示す必要があるため、基本計画策定に要する経費を計上しました(608万円)。

税務課

固定資産 現況調査

固定資産(土地、家屋、償却資産)に対する課税は、従来から現地調査などにより正確な課税を行ってきましたが、より正確で公平な



▲昨年は京都で行われた
全国健康福祉祭

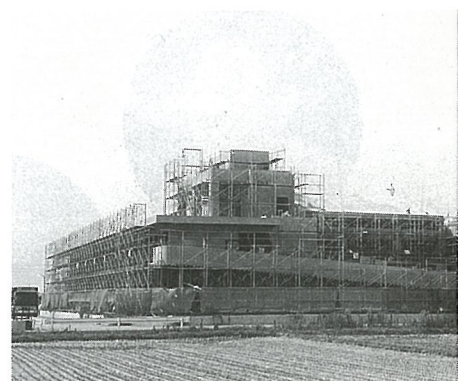
民生 福祉課

特別養護老人ホーム 招致準備費用

課税を行うために、飛行機による写真撮影などをし、土地・家屋の現況調査を行います。なお、この調査は6年度から8年度まで行います(600万円)。

毎年行われている全国健康福祉祭が今年は香川県で開催されます。町からは県の代表として、ソフトボール、グラウンドゴルフ、囲碁の選手が出場します。で、参加費用の一部を助成します(41万円)。

横芝町、野栄町、光町で構成している東陽病院では、特別養護老人ホームを招致するための準備を行っています。この準備の一環として、今回の補正予算では用地取得などに必要な費用の



▲建設が進む九十九里ホームの
身体障害者療護施設

産業課

客土事業補助金 を増額

負担を増額しました(789万円)。

また、九十九里ホームが行う身体障害者療護施設建設の助成金を予算計上しました。この施設は来年の2月に完成する予定ですが、町民が利用することも予想されます(500万円)。

当初予算で商工業振興補助金として200万円計上していましたが、商工業発展のため補助金を増額しました(100万円)。

また、農業近代化施設整備事業として尾垂地区のミニライスセンター新設のため、事業費の一部を助成します(241万円)。

水田を畑に転換するいわゆる客土事業は、県と町で